

=====

ABSINC ver. 3.1

=====

Copyright EUKLID-JAPAN

=====

このユーティリティはアブソリュート形式のNCデータをインクリメンタル形式のNCデータに変換します。

【動作環境】

日本語版 Windows95、Windows98、WindowsNT4.0、Windows2000 が動作している DOS/V 機。

【インストール】

ダウンロードしたファイル「absinc.exe」を PATH の通ったフォルダにコピーして下さい。
オイクリッドが動作しているシステムならば C:\win32app\konsys\euclid\eucom にコピーすれば
使用できるようになります。

【使用方法(その1)】

変換するファイルがあるフォルダをカレントフォルダとしてコマンドプロンプト
(MS-DOS プロンプト) を出し、「absinc」と入力します。
その後、質問に答える形式でパラメータを設定していきます。

[例] アブソリュート形式のNCデータ(test1.ppp)をインクリメンタル形式(test2.ppp)に変換する。

(黒字は画面に表示される内容。赤字はキーボードから入力する内容です。)

```
D:\¥eukuser> absinc

INPUT-FILE NAME: test1.ppp

OUTPUT-FILE NAME: test2.ppp

Is your input ABS_FILE with the decimal-point? (Y/N) y

INPUT START-X: 0

INPUT START-Y: 0

INPUT START-Z: 100.

D:\¥eukuser>
```

INPUT-FILE NAME : 変換元のアブソリュート形式NCデータのファイル名。
OUTPUT-FILE NAME : 変換後のインクリメンタル形式NCデータのファイル名。
Is your input ABS_FILE with the decimal-point? (Y/N) :
変換元のアブソリュートNCデータが小数点有りかどうか?
(y : 小数点有り / N : 小数点無し)
INPUT START-X : 工具の開始点のX座標。
INPUT START-Y : 工具の開始点のY座標。
INPUT START-Z : 工具の開始点のZ座標。

【使用方法(その2)】

コマンドラインに必要なオプションをすべて指定して変換する。

```
書式:  absinc [input-file] [output-file]
        [-o] [-d] [-n]
        [-s x, y, z]
        [-h]
```

input-file : 変換元の ABS ファイル名
output-file : 変換後の INC ファイル名

-o : 変換後ファイル名省略モード
ファイル名が自動で付けられます。
(例) absinc test.ppp -o
変換後ファイルは"test_inc.ppp"になります。

-s : 工具開始点
X, Y, Z の書式で指定します。
(例) -s 0, 0, 100.
省略時は対話式に聞いてきます。

-d : 変換元 ABS ファイルが小数点付きとして変換します。
-n : 変換元 ABS ファイルが小数点無しとして変換します。

省略時は対話式に聞いてきます。

-h : ヘルプを表示します。

(例) absinc test1.ppp test2.ppp -s 0, 0, 100. -d

ABS ファイル test1.ppp を test2.ppp のファイル名で INC ファイルに変換します。
工具開始点は X=0, Y=0, Z=100.0 で、ABS ファイルは小数点付きであると
指示しています。

【制限】

このユーティリティで作成される NC データは保証されているものではありません。
確認の上、ご使用ください。

【著作権、免責】

ABSINC はフリーソフトウェアです。
著作権は(株)オイクリッド・ジャパンが有します。

本ユーティリティをインストール及び使用することにより生じた障害、損害において弊社は
一切責任を負わないものとします。
各自の責任で使用して下さい。

弊社は本ユーティリティーに不具合が発見された場合においても、その修正およびバージョンアップの義務を負わないものとします。

【再配布】

再配布に関して以下の条件に従う限り自由です。

- ・ 内容を変更しないこと
- ・ 営利目的での販売行為を行わないこと
- ・ 著作権表示を変更しないこと